

## 10月より通所型サービスCのコンサルがスタートします

日出町にある株式会社ジュエル様よりご依頼を受け、テイサービスいちょうで10月からスタートする総合事業の通所型サービスC（短期集中予防サービス）へ、コンサルティングとして介入させて頂く事となりました。テイサービスいちょうは、利用者一人ひとりが時間軸に縛られず楽しく過ごせるよう空間作りを大事にされており、またスタッフもとても優しく安心感を与えてくれます。他にも老人ホームやヘルパーステーションなどもあり幅広くご活躍されています。月2回の介入となりますが、今まで培った知識や技術を最大限活かして、全力でサポートして参ります！！

## （株）ナガヨシPresents “DXサービス研修会”

（株）ナガヨシさん主催の「IoTを活用したDXサービス研修会」というテーマで当事業所からは50分の時間を頂いて、介護予防に関する知見と、DX（歩容解析アプリ）を活用した健康教室についての説明をさせて頂きました。DX=デジタルトランスフォーメーションは、昨今ではよく耳にする言葉ですが、大分県でもDX課という部署があり、今年度より湧く湧くDXという伴走型モデル創出プロジェクトが開始されました。Re-NKもDX宣言事業者として登録しており、今後より皆様のご期待に応える事ができるよう頑張っていきたいと思っています。



## リハビリコラム

## 「フロー状態ってなに!？」

Mさんは、人工股関節術後で入院されていました。退院直後より介入させて頂きましたが、起きているのがきついと言われ、寝て過ごす事が多くなりました。朝から夕方までベッドで過ごし何も食べていない事もありました。そんな中、友人に協力してもらい、大好きな麻雀を自宅でやってみる事としました。すると、あっという間に2時間以上座って過ごす事ができ、私の方が先に疲れてしまう程集中されていました。このように時間の感覚を忘れて、没頭する状態を“フロー”と言います。

入院前に通っていた健康麻雀に通う自信に繋がったようで、リハビリは無事に卒業されました。



アメリカの心理学者チクセントミハイさんが「心の中はその事いっぱい」「周囲の事には無頓着になる」など最高に気持ちが良い経験を“フロー”と名付けました。フロー状態は行為者の能力と挑戦感が程よく一致したときに入ると言われています。

## ～こんな方にも介入させて頂きました～

リハビリのない病院へ入院された方へ、入院中の約2週間の期間のみ病院へ訪問し毎日介入させて頂きました。一時的にほぼ寝たきりの状態から看護師さんにも協力して頂き、何とか数mの手引き歩行ができる状態で退院する事ができました。※病院長の許可を頂いて介入しています。

人と人、人とまち、人と作業を繋げる。

まずはお気軽にご連絡ください

☎ 090-5087-3813

別府市リハビリリンク

🔍 検索

